

令和2年度 第2次試験 再現答案 事例 I

氏名: mochico

問題	解答(改行せずにご入力ください。)	文字数目安
第1問(設問1) (100字以内)	経営ビジョンは、①インバウンドブームの前兆期で、日本文化にあこがれる来訪者に対して、老舗ブランドの強みを活かし、地域活性化につなげる、②A社長に経営実務の修行を積ませ、将来企業グループの総帥とする。	99
第1問(設問2) (100字以内)	理由は、①地元有力者として、地域の雇用を維持することで、地域活性化につなげること、②全経営者やベテラン従業員の持つ、酒造りのノウハウや、複雑な事務作業や取引先との商売を円滑に引き継ぐため。	94
第2問 (100字以内)	手順は、①ベテラン社員の知識や経験に頼っていた複雑な事務作業を棚卸し、形式知化し、②取引先との商売をデータベースで一元化し、管理方法を決め、③①、②で情報システム化したことを従業員に教育し効率化した。	100
第3問 (100字以内)	能力は、①市場ニーズに敏感になり、市場で求められている商品を杜氏や蔵人とコミュニケーションをとり共有する能力、②顧客に対し多様なニーズにあう商品を提案する能力。	80
第4問 (100字以内)	留意点は、①成果主義賃金を導入し、それぞれの事業特性は求められる能力に応じた報酬を支払うことで、モラル向上を目指すこと、②正規、非正規社員、外国人材を適在適所に配置し、地域雇用を守ること。	95

令和2年度 第2次試験 再現答案 事例Ⅱ

氏名: mochico

問題	解答(改行せずにご入力ください。)	文字数目安
第1問(各40字以内) S	無農薬・高品質で用途の広いハーブを効率的に栽培できること。Z社取引による信用力。	40
W	ハーブと島の知名度が大都市では著しく低い。生のハーブの輸送コストが高いこと。	38
O	X社取引の実績より、他業者から引き合いがあること。	25
T	Z社のB社ハーブを使った製品があと2～3年で製造中止の可能性があること。	36
第2問 (100字以内)	方向性は、①Z社にかわる企業との取引を開始し、Z社への売上依存度を下げること、②自社ブランド製品を開発販売し、他社に依存しない売上を確保すること。	73
第3問(設問1) (50字以内)	新しい製品を、新しい市場である25～50代の大都市の女性に売り出し、関連多角化戦略をとった。	46
第3問(設問2) (100字以内)	施策は、①オンラインサイト上で健康に対する不安や製品に求める内容をアンケートをし、顧客ニーズを収集すること、②ニーズや顧客データに基づいて新製品を開発すること、③開発応援隊のようなものを募集すること。	100
第4問 (100字以内)	プログラムは、①ハーブの収穫を行う就農体験を行い、青い空の下で一面のハーブ畑の中で海からの風にあたるという感動体験を提供する、②高齢者を先生として、ハーブを使った地域の食事作り・試食教室を行う。	97

令和2年度 第2次試験 再現答案 事例Ⅲ

氏名: mochico

問題	解答(改行せずにご入力ください。)	文字数目安
第1問(a) (40字以内)	特別仕様の個別受注生産に対応できる、ステンレス製品の溶接技術や研磨技術。	36
第1問(b) (40字以内)	納期遅延を発生させる生産体制、工場建屋の制約により製品の加工スペースが狭いこと。	40
第2問(設問1)(a) (60字以内)	問題点は、契約締結後に仕様変更や図面変更により顧客とのやり取りが多く発生すること。	41
第2問(設問1)(b) (60字以内)	対応策は、見積書作成段階で2DCADを活用して、設計を行った上で契約することで、製作図や施工図の変更を少なくすること。	59
第2問(設問2) (60字以内)	問題点は、①作業チームに技術差があること、②加工物の大型化によって加工スペースが狭く、移動のムダが生じること、である。	59
第3問 (120字以内)	助言は、①コカレントエンジニアリングにより、設計から製造まで各部門間で情報を共有することで、打ち合わせ時間を短縮すること、②設計時に使用している2DCADを見積書作成段階から活用し、製造後の手直しのムダを無くす。	106
第4問 (120字以内)	短期的には、現在の生産管理を見直し、納期遅延を解消することで、既存顧客の固定客化を図り、安定受注を得ること、長期的には、建築プロジェクトに参加しているデザイナーをターゲットに、新規顧客を獲得し、販路拡大を図ること。	107

令和2年度 第2次試験 再現答案 事例Ⅳ

氏名: mochico

問題	解答	文字数目安
第1問(設問1)①	(a)売上高総利益率 (b)26.39 (%)	
第1問(設問1)②	(a)有形固定資産回転率 (b)5.30 (回)	
第1問(設問1)③	(a)自己資本比率 (b)15.82 (%)	
第1問(設問2) (60文字以内)	顧客志向で地域に根差した企業として評判が高いため収益性が高く、固定資産の効率性、過少資本で安全性が低い。	52
第2問(設問1)(a)	70百万円以上の売上をxとする。 $(70 \times 21 \div 60 + 0.4x) - 28 = 0$ $x = 8.75$ 損益分岐点売上高 = $70 + 8.75 = 78.75$ 百万円	
第2問(設問1)(b)	78.75 (百万円)	
第2問(設2)(a)(i)	効果があるときの正味現在価値 $0.7 \times \{(\Delta 5 + 35) \times 0.926 + (\Delta 5 + 35) \times 0.857 + (\Delta 5 + 35) \times 0.794 + (\Delta 5 + 35) \times 0.735 + (\Delta 5 + 35) \times 0.681\} + 24 \dots \text{ア}$ 効果が出ないときの正味現在価値 $0.3 \times \{(\Delta 5 + \Delta 5) \times 0.926 + (\Delta 5 + \Delta 5) \times 0.857 + (\Delta 5 + \Delta 5) \times 0.794 + 28\} \dots \text{イ}$ $\text{ア} + \text{イ} = 101.32$ 百万円	
第2問(設2)(a)(ii)	101.32百万円	
第2問(設2)(b)(i)	順調なとき $0.4 \times \{12.5 \times 0.926 + 25 \times 0.857 + 25 \times 0.794 + 25 \times 0.735 + 25 \times 0.681 + 27\} \dots \text{ア}$ 順調ではないとき $0.6 \times \{7.5 \times 0.925 + 15 \times 0.857 + 15 \times 0.794 + 15 \times 0.735 + 15 \times 0.681 + 27\} \dots \text{イ}$ 正味現在価値は $\text{ア} + \text{イ} - 30 = 79.95$ 百万円	
第2問(設2)(b)(ii)	79.95百万円	
第2問(設2)(c)	①	
第3問(設問1) (40文字以内)	純資産額と買収価格の差額100百万円を負ののれんとして計上する。	32
第3問(設問2) (40文字以内)	買収価格が純資産額より安い場合、表面に現れていないリスクについて慎重に判断すべき。	41
第4問(設問1)(a)	4.31%	
第4問(設問1)(b)	2.55%	
第4問(設問2)	3.74%	
第4問(設問3)(a) (20文字以内)	積極投資により評価が下がってしまう点。	19
第4問(設問3)(b) (20文字以内)	貢献利益率を採用し業績と評価を連動させる。	21